

シーノに行っちゃいまシーノ！

摂南大学増田ゼミ

私たちは、今回のテーマの「定住」や「暮らしたくなる」という言葉にポイントを置いて、政策を考えました。そこで、病気の子どもをもつ家族に移住をしてもらうことを目的に、登別温泉の泉種の多さと室蘭市にあるきらんのような施設に病児保育などの機能をつけた「シーノ」という施設を提案しました。

現在の登別は、年少人口が減少しています。子どもの人口が減少してしまうと、社会としての持続可能性が望めなくなってしまいます。なぜ子どもの人口が減少しているのかを調査したところ、社会減になっていることが挙げられます。また、社会減は自然減の約3倍になります。

そこで、子どもの人口減少を止めるために、転入人口を増やすことを課題としました。そのために、まずは登別の強みを書き出しました。自然が豊かであるため外で遊んだり体を動かすのに良い点や気候が穏やかであること、全国的に有名な登別温泉がある点です。その登別の強みから、病気の子どもに対して登別温泉が有効であると考えました。9つの泉種をもつ登別温泉は療養に符合すると提案します。

また、私たちの考えた施設「シーノ」は、アイヌ語で遊びの意味をもつ「シノ」に倣い、子どもにも家族にも覚えてもらいやすく、かわいい言葉であることという内容で話し合い決めました。この「シーノ」は室蘭市にあるきらんのような、子ども向けのアミューズメントセンターとして活躍します。アトラクションとしては、スライドに掲げていたとおり、浅いプールは水換えのコスト削減や安全面に配慮し、さらすなコーナーは口に入っても大丈夫であり、かつ掃除もしやすいキネティックサンドを利用し、アスレチックの設置は運動不足になりやすい現代では、自重での筋トレになるため余分な負荷がかかりにくくケガもしにくいため、このような事業プランを提案しました。年間パスポートの導入は、病気になった子どもがいてもスムーズに入場できることがメリットになります。

建設については、廃ホテルや廃校の再利用、または、亀田記念公園へ併設することで、予算削減にもなると考えました。

この「シーノ」という施設を建設することで、病児保育の働き手と新しく移住する家族の繋がりもでき、子ども連れの家族にも利用してもらうことで登別に転入人口が増加が見込めます。

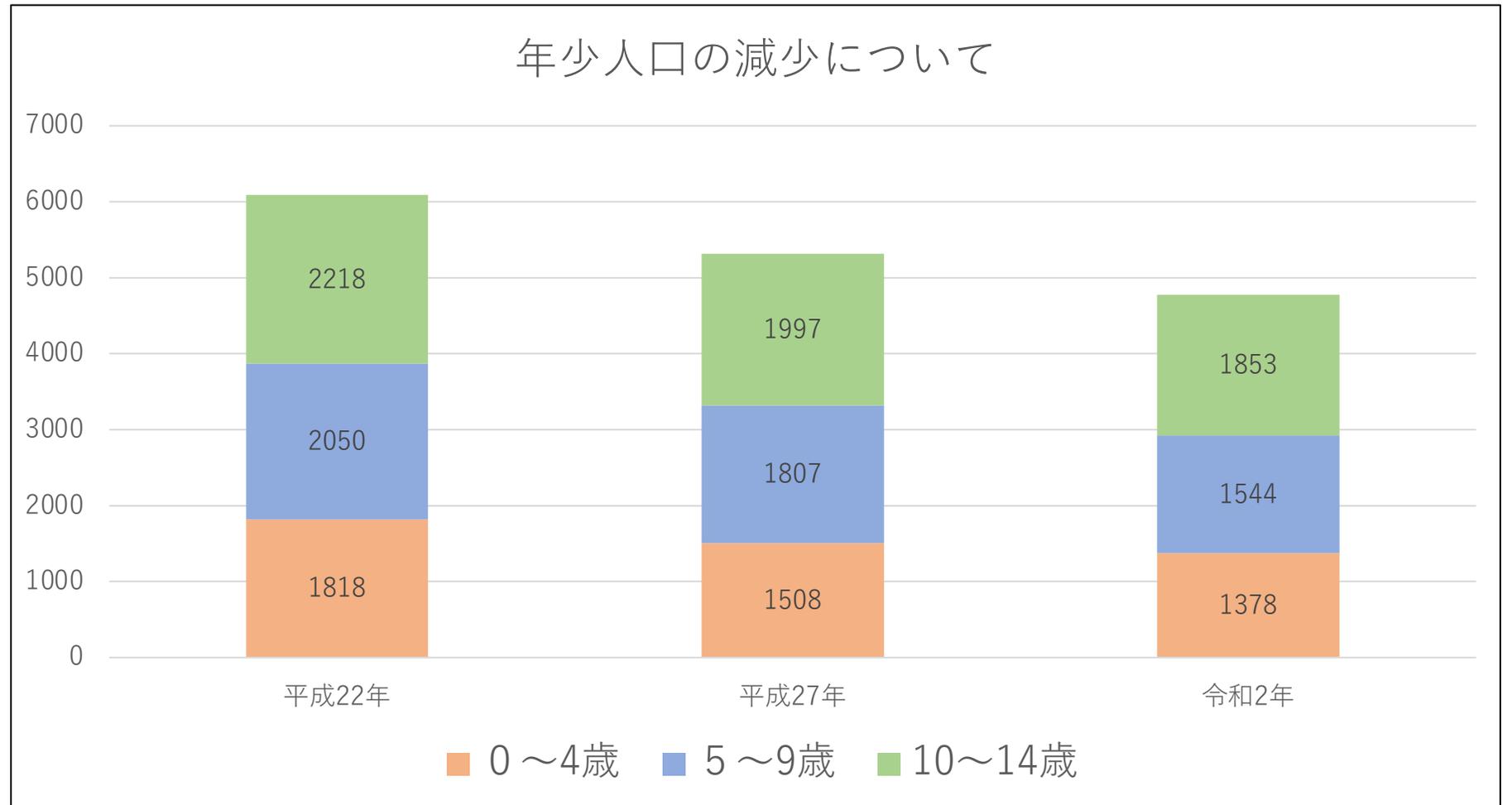
シーノに行っちゃいまシーノ

摂南大学増田ゼミ

赤坂時也	岡崎野の花	岡島子竜	恩田祐菜	諸石彩凧
加治屋知優	田川颯斗	田口大夢	武田瑞希	中西杏菜
野口紗緒里	野田菜月	牧村晟那	美川智春	向井柊生

登別の現在は

子どもの人口が減少している



子どもの人口減少による問題点は

コミュニティの機能が低下してしまう

- 少子化の一方で、高齢化が進むコミュニティでは過疎化に歯止めがかからない。
- また、地域の基盤となるインフラや社会サービスを維持できなくなる。
- このまま転換がなければ、社会としての持続可能性が望めない。

引用：少子化加速
<https://zuonline.com/archives/151018>

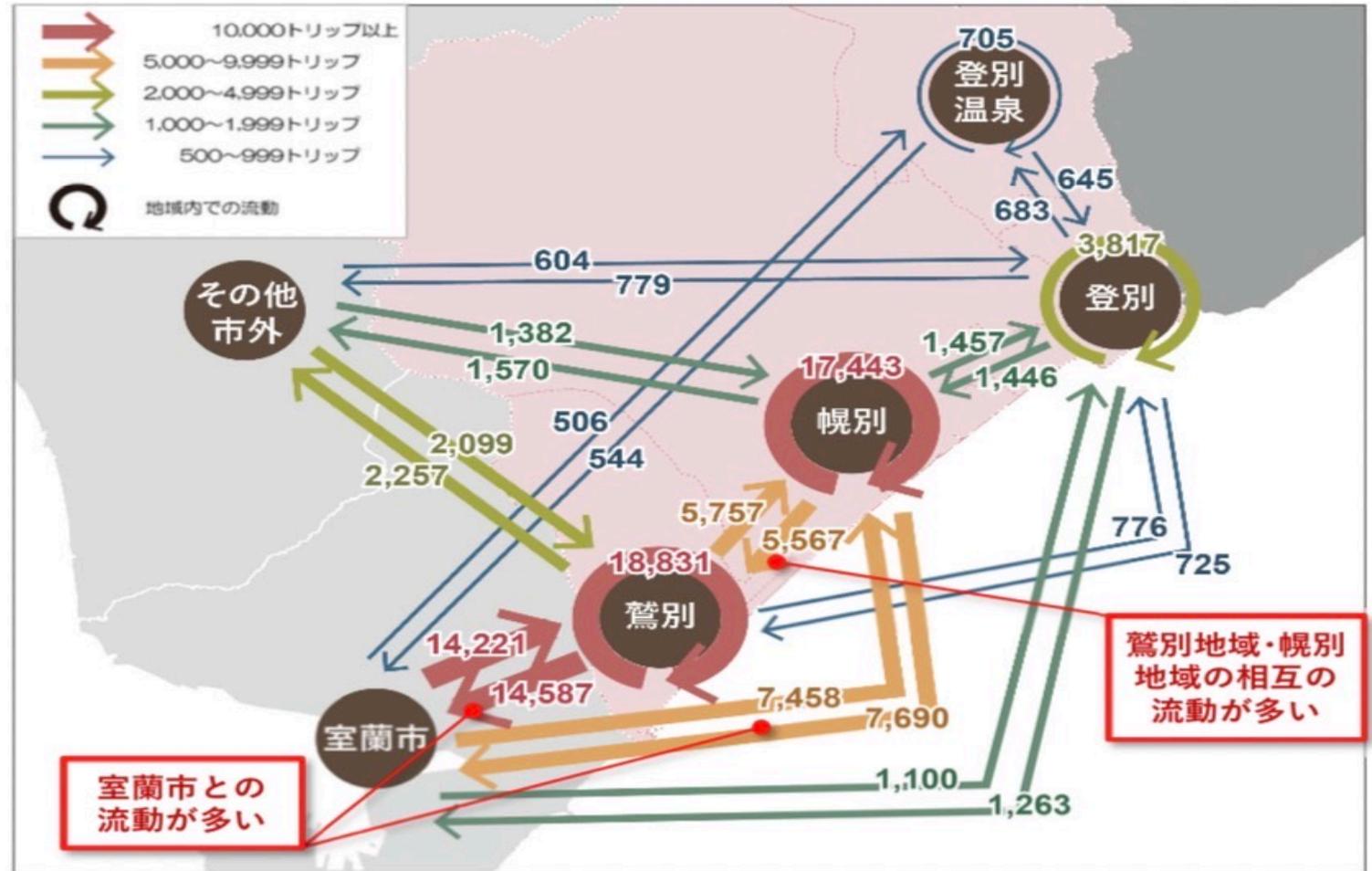


引用：登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針
https://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2021071900059/file_contents/noboribetsugd.pdf

①子どもの人口が減っている理由は

社会減になっている

- 人口移動について、登別市から札幌市へと転出している人が多い。
- また、転出人口が転入する人口を上回っている。



引用：登別市立地適正化計画
1章登別市の概要及び現況と課題
https://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2020091500027/file_contents/02_1syou.pdf

※ トリップ：人がある目的のため、出発地から到着地まで移動することを表す単位。
※ 500 トリップ以上の区間を抜粋。
※ 室蘭都市圏（室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・社警町・洞爺湖町）が調査対象のため、隣接している白老町は含まれない。

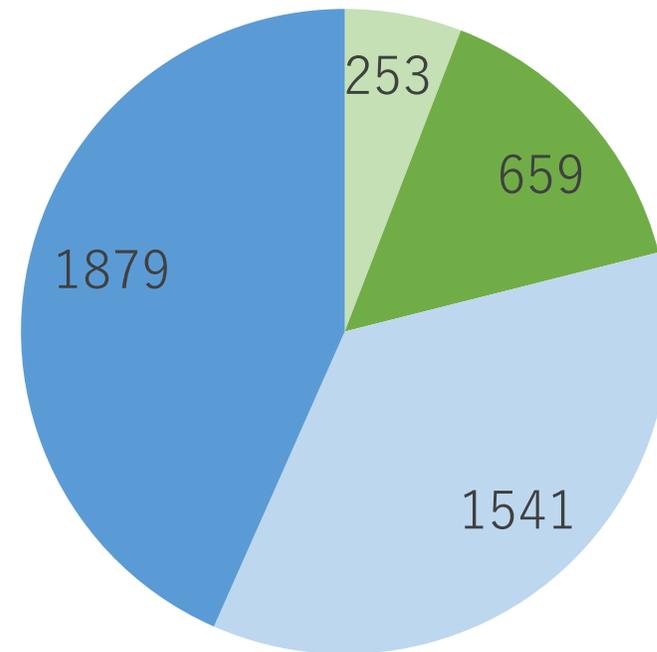
資料：北海道「室蘭都市圏総合都市交通体系調査（平成28年度（2016年度））」

②子どもの人口が減っている理由は

人口の社会減と自然減について

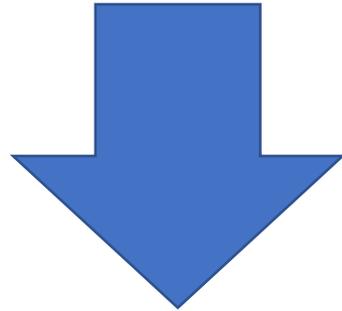
令和3年

自然減の原因については、特に子どもを産む若い世代の過剰な流出があった。また、死亡数の増加もあるがやはり出生数の減少が大きい。



■ 出生 ■ 死亡 ■ 転入 ■ 転出

コミュニティ機能の低下の解決策として



転入人口を増やす

転入人口を増やすための登別の強みは なんだろうか？

- ・ 自然が豊かで、外で遊んだり体を動かすのに良い地域
- ・ 気候が穏やかで、雪があまり降らない
- ・ 全国的に有名である登別温泉がある

登別の魅力は

9つの泉種を持つ登別温泉 

泉質

酸性-含硫黄-アルミニウム-硫酸塩・塩化物温泉（硫化水素型）



効能（適応症）

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、ぢ疾、慢性消化器病、慢性皮膚病、病後回復期、疲労回復、健康増進、高血圧症、動脈硬化症、糖尿病、慢性婦人病、冷え症、きりきず

禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、活動性の結核、高度の貧血、皮膚粘膜に過敏な人、特に光線過敏症の人、高齢者の皮膚乾燥症、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

こういった 登別の魅力を 活かし



病気の子を持つ家族を呼び込む

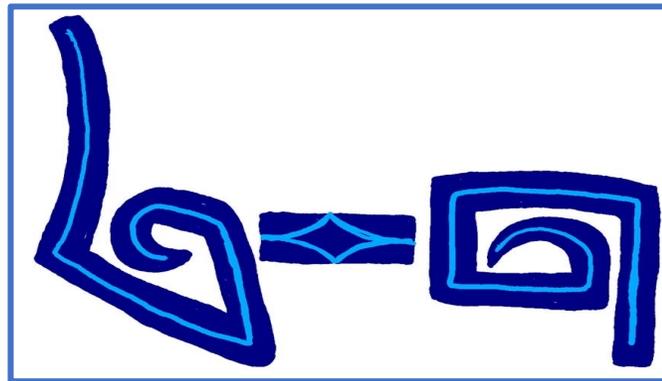
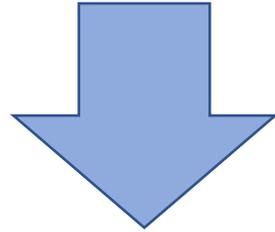
室蘭市にあるきらん

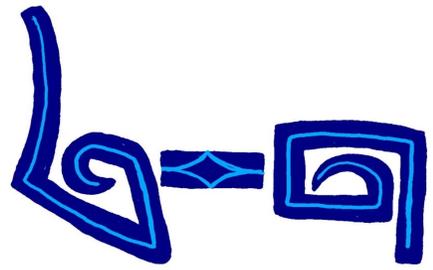
- 室蘭市にある「きらん」は子ども向けのアミューズメントセンターで、子ども連れの人たちに人気である。「きらん」のような子ども向けのアミューズメントセンター兼公園を作ることで、移住者増加が見込める。

シーノ

シーノの名前の由来

アイヌ語で「シノ」は遊びの意味を持つ！
「シノ」をかわいくして「シーノ」に変身

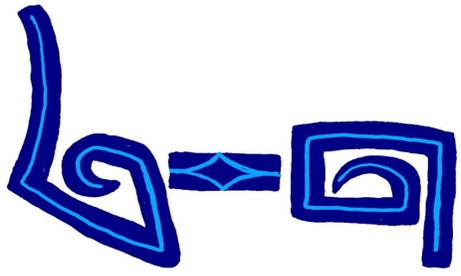




の意義について

政策の方向性

みんなが集まって、地域の交流を深めることができ、祖父母が近くにいない病気の子を持つ家族でも、病児保育の施設に任せることができ、心配せず仕事に行ける。



立地について

- ・ 建設場所
住宅街の近く。
亀田記念公園への追設。
廃ホテルの再利用。
廃校の再利用。



一回でできる事

具体的な事業プラン

健康第一・安全第一。こまめに消毒！

浅いプール(ジャブジャブ池)

小さい滑り台

温泉どろんこ遊び

さらすなコーナー(口に入ってもいい砂)

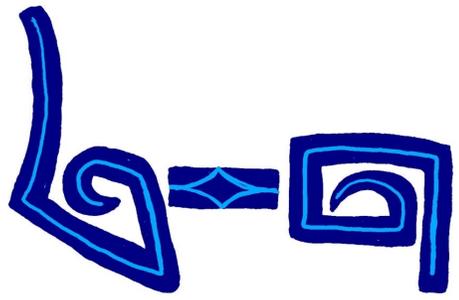
ボールプール

アスレチック(体を強くする)

トランポリン(バランス感覚を鍛える)

- ・ 営業時間は10時～19時、定休日(水)
- ・ 大人は無料で子どものみ入場料200円
- ・ 年間パス導入2000円





を作る事で地域はどうなる？

登別の変化について

この施設は、子ども連れの家族に利用してもらうことを想定している。
また、病気の子どもをもつ家族にも安心して利用できる施設にするため、
病児保育も併設して建設する。

ほなまた！